

1 平成 26 年度 普通会計決算状況(総括)

普通会計決算の概要

1 調査団体数

平成25年度財政状況調査の対象となった普通会計団体数は次のとおりである。

市	町	村	一部事務組合	調査団対数
19	23	35	64	141

2 決算規模

平成25年度の調査団体の普通会計決算額は次のとおりである。

(単位:百万円、%)

区 分	平成26年度(A)	平成25年度(B)	(A)/(B)×100
歳 入	1,127,093	1,093,652	103.1
歳 出	1,081,332	1,044,118	103.6
差 引	45,762	49,535	92.4

3 収支の状況

(1) 実質収支

ア 平成26年度の調査団体の普通会計の形式収支(歳入歳出差引)は、457億6千2百万円の黒字であり、これから繰越事業の財源として翌年度へ繰越すべき財源132億12百万円を差引いた実質収支は、325億5千万円で、前年度と比べて19億1千3百万円減少した。

イ 実質収支をみると、141の全団体が黒字となった。

(2) 単年度収支

ア 単年度収支は前年度と比べ50億5千7百万円減少し、18億6千5百万円の赤字となった。

イ 実質単年度収支は、前年度と比べて75億4千9百万円減少し、28億9千万円の黒字となった。

なお、実質単年度収支の黒字要素である財政調整基金への積立金は80億6千万円で前年度と比べて22億5千5百万円減少し、同じく黒字要素である地方債の任意の繰上償還金は36億6千5百万円で前年度と比べて1億5千1百万円減少した。また、赤字要素である財政調整基金の取崩し額は69億7千1百万円で前年度と比べて8千8百万円増加した。